

登録コード:MH154300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	看護研究概論【20M以降】 Nursing Research		
担当教員	下里 誠二 他 佐藤 奈保・會田 信子・浅野 美礼・芳賀 亜紀子・徳武 千足		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/3年生 前期 火曜・2時限		
単位数、講義室	1単位	保健学科311講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔ 授業の達成目標
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健		
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。	⇔	保健・医療・看護に関わる問題を解決するための科学的根拠を提供する看護研究の基礎的な知識を獲得し、看護研究の種類や方法、看護研究の具体的な進め方を説明できる
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護		
	「基礎的・専門的な知識と技能」看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	看護専門職者としての研究の知識と技術を習得し、自身の看護研究に活用できる
	「科学的探求力」変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔	看護研究として、課題を見つけ、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心を身につける
授業で学べる「テーマ」	キャリア		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	本授業は、看護研究を行う上での基本的な知識を修得します。保健・医療・看護に関わる問題を解決するための科学的根拠が必要であること、それを提供する看護研究の意義を学修します。研究のプロセスを理解し、主要な看護研究の種類や方法を学修します。また研究にあたり必要な研究倫理について理解し、各自が学生用のeAPLINを受講して、その知識が確実であることを確認します。また、看護研究を論文にまとめ、発表する方法やポイントを学修します。 この授業では看護研究という広範な学問領域を基にした研究のための基礎を学ぶため1年に学んだ学術リテラシー、2年で学んだ公衆衛生学等保健医療にかかわるすべての科目を基盤としています。同時期に受講している実践保健統計も併せ4年次の看護研究Ⅰ・Ⅱにおける基礎知識となります。 この授業では、各教員の研究者としての実務経験を活かして授業を行います。		
授業計画	教員がオムニバスで行う。都合により、講義の順番が変更になる可能性がある 第1回：4月14日 看護研究の出発：看護研究とは？研究の目的・意義 下里 第2回：4月21日 文献検討と文献検索（図書館の活用） 小村（図書館） 第3回：4月28日 研究のプロセスと研究計画書の作成 芳賀 第4回：5月12日 看護研究における倫理・e-Aprinについて 浅野 第5回：5月19日 研究方法の理解：量的研究 徳武 第6回：5月26日 研究方法の理解：質問紙の作成と分析 芳賀 第7回：6月2日 研究方法の理解：質的研究・事例研究 佐藤 第8回：6月9日 研究論文にまとめる、発表する 會田 授業アンケート		
授業の進め方	・テキスト、教員作成のパワーポイント資料などを用いた講義を中心に行います。各授業に示された課題等に取り組んでください。図書館からの文献検討の説明、実際の研究実施の経験などから研究に必要なプロセスを学ぶことができます。		
テキスト、教材、参考書	<テキスト> 南裕子編：看護における研究, 日本看護協会出版会 第2版. <参考資料> 各授業でも示します。 ①黒田裕子：黒田裕子の看護研究Step by Step 第5版. 医学書院, 2017. ②西垣昌和：看護と研究 根拠に基づいた実践 南江堂 2023. ③西垣昌和：看護研究ポケットナビ, 中山書店, 2013. (信州大学図書館：Maruzen e-booklibraryで閲覧可) ④上野栄一, 出口洋二, 一ノ山隆司：楽しくなる看護研究, メディカルフレンド社, 2012. (信州大学図書館：Maruzen e-booklibraryで閲覧可) ⑤富田美和, 松本直子：看護に生かす文献検索, 中央法規出版, 2021. (信州大学図書館：Maruzen e-booklibraryで閲覧可) ⑥足立はるゑ：看護研究サポートブック第4版. メディカ出版, 2017. (信州大学図書館：Maruzen e-booklibraryで閲覧可)		
成績評価の方法	*e-APLINを6月末までに受講することを必須とします。 未受講では本科目は合格となりません。4年次の看護研究Ⅰ・Ⅱの履修もできません。 *e-APLINを6月末までに受講することを必須とします。		

成績評価の方法	未受講では本科目は合格となりません。4年次の看護研究Ⅰ・Ⅱの履修もできません。 ＊成績は、e-APRIN受講10点、各回の講義内容に関するリアクションペーパー50点、レポート40点の合計100点とし60点以上を合格とします。ただし、①を満たさないと合格にはなりません。 ＊リアクションペーパーは各担当教員より指示があります。 ＊提出レポートについて 看護研究として関心があるテーマを上げ、関連する5つ以上の研究文献を検索し、次の内容をA4に3枚以内でまとめて期日までに提出してください。①テーマに関心を持った理由や背景、②テーマに関する現状・課題・対策など、③②に関する自分の考察、④引用文献リスト。詳細は、第1回目の講義の冒頭で説明します。
成績評価の基準	レポートについては、(i) テーマの設定が適切であり、(ii) テーマの背景を説明できており、(iii) 研究文献の結果から、テーマに関する説明、現状、課題、対策等を整理して記述できており、(iv) 自己の見解を適切に述べられていること、(v) レポートの体裁、文献の示し方が適切であることを評価します。各項目を満たし、教員を感心させるレベルにある場合は「卓越している」(90%以上)、各項目について十分満たしており特に(iii) について優れている場合は「かなり上にある」(80%以上)、各項目を適切に満たしていれば「やや上にある」(70%以上)、各項目の内容が満たされていれば「水準にある」(60%以上)とします。 リアクションペーパーについてもは、「指示された内容について卓越した記述をしている」(90%以上)、「指示された内容が優れている」(80%以上)、「指示された内容についてよく考えている」(70%以上)「指示された内容が書かれている」(60%以上)とする。 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点良 60-69点：可
事前事後学習の内容	本授業の単位習得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間16時間(2時間×8回)+自己学習29時間(3時間×8回+課題5時間)=45時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	看護研究を行うのに必要な基礎知識です。4年次の「看護研究Ⅰ」および「看護研究Ⅱ」は、ここでの学習をもとに行います。すでに学んだ内容として進められますのでしっかりと学習しましょう。 質問および相談への対応：各回の講師に連絡してください。 【佐藤】naho_sato@shinshu-u.ac.jp 【曾田】aida@shinshu-u.ac.jp 【浅野】millet@shinshu-u.ac.jp 【芳賀】akihaga@shinshu-u.ac.jp 【徳武】ctokuta@shinshu-u.ac.jp 【小村】akomura@shinshu-u.ac.jp 【下里】sshimos@shinshu-u.ac.jp